

MBC ラジオ『ココが聞きたい！ドクタートーク』2023.10.14
第 1067 回放送分『眼科疾患』2 回目 ゲスト：尾辻太ドクター

二見いすず

今月のドクタートークは

「眼科疾患」をテーマにお送りしています。

お話は、鹿児島県医師会の尾辻太（おつじ ふとし）ドクターです。

尾辻さん、どうぞよろしくお願ひいたします。

尾辻太Dr.

よろしくお願ひいたします。

二見いすず

先週は緑内障について教えていただきました。

緑内障は、初期では自覚症状のないまま視野が欠けていく病気で、日本人の中途失明の原因第 1 位でもあり、40 歳以上の 20 人に 1 人が罹患していると推計されるというお話でした。

今日はどのようなことについて教えていただけますか。

尾辻太Dr.

今日は検査についてお伝えします。

緑内障は自覚症状がなく初期の段階では異常に気づきにくいので、検査をしなければ、かなり進行してしまうことが多々あります。

だからこそ、眼圧検査や眼底検査がとても大切なんです。

二見いすず

眼底検査ですね。これはどのような検査になるのでしょうか？

尾辻太Dr.

眼底検査は瞳孔を開く目薬をつけ、光を入れて眼球の奥の状態を観察し、血管や網膜、視神経を調べる検査です。

ここで異常があれば視野検査をして、そこで視神経の障害と視野障害が一致すれば、緑内障と診断がつきます。

二見いすず

この眼底検査は何歳くらいから、どのくらいの頻度でするといいのでしょうか？

尾辻太Dr.

40 歳以上の方は、年に 1 回検査するようにしてください。

お子さんでも中等度以上の近視の方は、定期的に検査することをおすすめします。

二見いすず

分かりました。

眼底検査で緑内障と診断されたら、治療すれば良くなるのでしょうか？

尾辻太Dr.

それが残念ながら傷んだ神経を元に戻すことはできないんです。

つまり、緑内障によって欠けてしまった視野は、元には戻らないということになります。

二見いすず

そうなんですネ・・・。

緑内障はどのくらいのスピードで進行するものなのでしょうか？

尾辻太Dr.

進行のスピードは個人差によりますし、緑内障の種類にもよります。

10年から20年かけてゆっくり進行することもあれば、急性の場合は数ヶ月で進行してしまうこともあります。

二見いすず

わずか数ヶ月で進行してしまうこともあるんですね。

尾辻太Dr.

はい。初期の段階では自分では気づきにくいこと、そして傷んだ神経を元に戻すことはできないことから、繰り返しになりますが、年に1回の眼底検査をきちんと受けるようにしてください。

二見いすず

眼底検査の大切さが、よく分かりました。

今月は眼科疾患についてお伝えしています。

お話は鹿児島県医師会の尾辻太ドクターでした。

ありがとうございました。

尾辻太Dr.

ありがとうございました。